

1 議題について

(1) 児童の実態

本学級の児童は明るく活動的な児童が多い。休み時間には外で元気よく遊び、クラスレクを4月から毎週1回行うなど、クラス全員での活動に意欲的である。係活動や給食当番などの当番活動にも、責任をもって取り組む児童が多く、生き生きと活動している。学級会活動については、計画委員として仕事をするに意欲的であり、回を重ねるごとに進行の仕方を身に付けることができるようになった。

(2) 議題選定の理由

児童はこれまでに、「学級の目標を決めよう」「学級の歌を作ろう」「マスコットキャラクターを決めよう」などの議題で話し合い実践してきた。学級会を重ねるごとに、自分の意見をはっきり伝えることができるようになってきたが、自分の意見に固執し、友だちの意見を受け入れられない児童もいる。学級会を通して相手の立場に立って考え、徐々に折り合いをつけられるようになってほしい。

2、事前の活動

目指す児童の姿と評価方法

- ・学級生活をよりよくするために進んで議題を考えたり、選んだりしようとしている。【関心】
- ・計画委員の役割や話し合い活動の準備の仕方などを理解している。【知識】

児童の活動（・）及び指導上の留意点（○）

（計画委員会の活動）

- 1 問題の発見
- 2 議題の選定 (6/27 青空タイム 計画委員)
- 3 議題の決定 (6/27 帰りの会 学級全員)
- 4 計画の作成と準備 (6/28 昼休み 計画委員)
 - ・学級会の活動計画 ・役割分担
 - ・提案理由の明確化・練り上げ
 - ・話し合いのめあての確認
 - ・柱の決定 ・学級会ノートの作成

5 問題の意識化

（学級全体の活動）

- ・議題を決定する。
- ・学級会ノートに自分の考えを記入する。
- 提案理由と話し合いのめあて、決まっていることについて確認してから、自分の考えを記入できるようにする。
- 「決まっていること」を掲示することで話し合う上での条件を明確にする。

3、本時の活動

目指す児童の姿

- ・友達の意見をよく聞き、自分の考えをもって積極的に話し合おうとしている。【関心・意欲・態度】
- ・提案理由に沿って「スマイル オリンピック」の計画を立てることができる。【思考・判断・実践】

・良かった点や課題について自己評価するとともに、友達の良かった点も振り返るよう助言する。
・自分の意見に固執せず、納得した上で考えを発表し決定する。

・柱①は、「比べ合う」から進められるよう、事前に短冊にまとめる。
・発表者が偏らないように司会に助言すると共に、多くの児童が話し合いに参加できるようにする。

・明るい雰囲気でも話し合えるように、笑顔で見守る。
・計画委員や提案者と事前に打ち合わせをしっかりと行い、自信を持ってできるようにする。

めあて

- ・男女仲良くできるオリンピックの計画を立てよう。
- ・運動が苦手な子も活躍できるように種目を考えよう。

柱①

どんな競技をするか。

- ・新聞紙やり投げ
- ・靴飛ばし
- ・二人三脚

柱②

もりあげるくふう

- ・目かくしバランス
- ・けんけんば
- ・鉄棒ぶら下が

ふりかえり

- ・賞状
- ・メダルをつくる
- ・得点表

めあて

- ・ランキング表
- ・司会
- ・プログラムをつくる

議題 スマイルオリンピックの計画を立てよう

提案理由

来年の八月に行われる東京のオリンピックや、親善運動会に向けて長縄練習を頑張る六年生の姿を見て、僕たちもクラスのみんなで競技を決め、スポーツの大会をしてみたいと思いました。そこでもっと二組が仲良くなるために運動が得意な子も苦手な子も一人一人が活躍できる愉快なオリンピックをしたいと思ひ提案します。

4、事後の活動

目指す児童の姿と評価方法

- 準備や集会に自主的・実践的に取り組んでいる。(観察)【関・意・態】
- 友達と協力し、責任をもって準備・参加している。(観察・カード)【思・判・実】

児童の活動（・）及び指導上の留意点（○）

- 7月4日(木)～7月10日(火)
- ・担当の役割ごとに実践する。
- 7月11日(木) スマイルオリンピック
- 意欲的に活動している児童や工夫している児童を称賛する。
 - 人間関係を深め、責任感や協力する意識が高まるように声かけをする。(振り返り) ・実践後、感想を書く。
 - 自主的・実践的に取り組んでいる。
 - 友だちのよいところについて認められるように助言する。
 - ◎学級会で話し合われた内容を活かした実践を目指す。

〈よりよい合意形成に向けて〉
提案理由をもとに、友達の意見と自分の意見を比べて、折り合いをつけて合意できるようにする。少数意見にも十分耳を傾け、多様な意見を認め合えるようにする。